

ライオンズクラブが少年団に助成金



6月13日、豊頃ライオンズクラブ（大谷友則会長）が、豊頃町スポーツ少年団本部（林俊則本部長）に助成金を贈りました。大谷会長は「大きな大会を控えている少年団へ少しでも役立ててほしい」と、林本部長に助成金を直接手渡しました。林本部長は「スポーツ活動を頑張っている子どもたちにとって貴重なご支援をいただき、感謝している。今後の少年団活動に役立てていきたい」と話しました。

ねんどクラブがチャリティーバザー



6月8、9日に、豊頃ねんどクラブ主催（熊野ミサ子会長）第8回「陶の器たちのチャリティーバザー」を開催しました。年に1度開催され、多くの来場者が町内外から訪れ、マグカップや皿などの器、約500点が並ぶ中からお気に入りを見つけ出し購入されていきました。来場者は「毎年楽しみにしている。今年も素敵な作品に出会えた」と喜んでいました。ねんどクラブによる器の販売のほか夢みるくの会によるチーズの販売も行われ、大変盛況でした。

観光シーズンを前に清掃活動



6月8日、本格的な観光シーズンを前に町観光協会主催による清掃活動が行われました。この日はあまり暑くもない曇り空のもと、大津漁港や長節湖、湧洞湖周辺の道沿いや浜辺など、町観光協会を始め、農協、漁協、森林組合、町商工会などの職員ら約100名が参加し、ごみ拾いを行いました。主にペットボトルや空き缶などで、約1時間ほどで拾い集められたごみの量は、約550kgでした。

える夢キッズクラブでマジック教室



6月16日、える夢キッズクラブが行われました。午前中は枝に生地を巻きつけて焼いたパン作りを行い、夏本番の前にアウトドア体験を楽しみました。午後からは松田茂さん（長節在住）によるマジック教室が行われ、参加した子どもたちは、封筒やクリップを使ったものや毛糸を使ったものなど、身近な材料を使ってできるマジックを習いました。松田さんは「また機会があれば子どもたちに教えたい。そのときはマジックを披露しあうことができれば」と話し、今後の活動にも意欲を見せました。何度も練習を重ね、短い時間ながらマジックを習得した子どもたちは大変満足した様子で「とても面白かった」と話しました。

新上架施設の供用開始式典



6月12日、大津港で大津漁業協同組合新上架施設供用開始式典が開催されました。大津漁港は昭和54年の開港以来、3度の大地震で大きな漁船被害があったことや、旧上架施設の老朽化が著しく、防災・減災に配慮した代替施設の整備が待たれていました。新上架施設は高さ14m、全長47.7mで、国内最大級となる100tの漁船を運べるシップキャリアが導入され、今後かさ上げされた船揚場を利用し、津波被害から漁船を守る働きをします。式典では中村純也組合長（大津漁業協同組合）が「新施設を地域漁業の支えとして末永く安全に有効利用していきたい」と式辞を述べました。当施設は11月から一部供用を開始します。

広報とよころ  
はるにれは見ていた

広報とよころ  
はるにれは見ていた

役場だより

役場だより

大津小学校に気象台長表彰



6月1日、「気象記念日」に伴い、大津中学校跡地にある「大津地域気象観測所」において、多年にわたり観測所の維持や気象業務の発展、推進に寄与した功績を讃えて、札幌管区気象台長表彰が橋本知洋校長（大津小学校）に授与されました。当日は143回目の気象記念日で、毎年6月1日に気象庁は記念式典を開催し、気象業務の推進等に寄与した団体・個人の功績に対し感謝状を贈呈しています。

地域貢献に感謝状



6月4日、株式会社大成塗装工業（長屋正宏代表取締役 音更町）に宮口町長から感謝状が贈られました。同社は地域貢献活動の一環として、これから利用シーズンを迎える茂岩山森林公園内のパーゴラ3棟のうち1棟の塗装修繕を実施したものです。

地域貢献に感謝状



6月12日、日本ホイス株式会社（村上正士代表取締役社長 広島県）に宮口町長から感謝状が贈られました。同社は大津漁協新上架施設に携わったことから、地域貢献活動の一環として大津漁港周辺の観光整備を行ったものです。

豊寿大学で特殊詐欺を学ぶ



6月18日、豊寿大学にて一般教養講座において池田警察署員による特殊詐欺啓発の演劇と豊頃消防署員による119番通報の効率的な方法について学びました。特殊詐欺啓発の演劇では、茂岩駐在所平野所長の司会のもと、池田警察署員による演劇を交え、事例を元にハガキやメールによる架空請求詐欺の事例がわかりやすく紹介され、誤って振り込む前に家族や警察署員、各種金融機関の職員などに相談しましょうと促しました。119番通報では、どのような場合に救急通報するべきか事例をあげ、緊急性の高いものを中心に知ることができました。また、通報する際には、住所を正確に伝えることなどの要点を学び、実際に通報をして体験しました。

戦没者追悼式



6月19日、本町の戦没者68名を偲び、豊頃町戦没者追悼式がえる夢館で行われました。遺族や来賓など53名が参列し、午前11時のサイレン吹鳴とともに参列者全員による黙とうが行われました。宮口町長は「戦後73年経った今も家族を失った悲しみは深い。悲しみを乗り越え地域社会の発展に貢献されたご家族の方々に敬意を表し、より良い町の発展のため、更なる努力を積み重ねていきたい」と式辞を述べました。また、町殉公遺族会の多田誠一会長は「過去の悲惨な戦争から学んだ教訓と平和の尊さを次の世代に伝え、悲しい歴史を繰り返さないことを誓う」と追悼の辞を述べました。

